

たんぽぽっしん



たんぽぽの「利用者の思いをくみ取る支援」の先

最近、障害者関係の法律において、「意思決定支援」という言葉を目にするようになりました。自分の考えや思いで行動や生活を決めるというあたり前のことが障害をかかえている人にとってはとても難しい問題になっています。

たんぽぽの利用者の多くは言葉で自分の思いを伝えることが難しいので、視線・表情・体の動き等から「利用者の思いをくみ取る支援」を以前から大切に取り組んできました。「次、これをしようか？」という問いかけに、ある人は「いや、したくない」と、言葉の代わりに首を横にゆっくりと振ります。ある人は何も反応をしません。次に、「では、こっちはどうですか？」という問いかけに、「はい」と答える人、うなずく人、両手をゆっくり上げる人等、一人ひとり意思の出し方は違います。また、「はい」というサインを出したけど、実際そのようにやってみると違ったということもあります。その時は利用者の不満足そうな表情や声、落ち着きのない行動等で理解することができます。

また、月に1回「リクエストメニュー会議」を開催しています。利用者が栄養士の助言を受けながら好きな昼食の献立をリクエストするのですが、料理の名前は言えなくても料理本の写真を見ると、過去に食べたことがある美味しかった料理を思い出すことができます。利用者の視線の先にある料理をリクエストしたり、事前にご家族に好きな食べ物を聞き取ってその写真を見ながらリクエストしていきます。

「利用者の思いをくみ取る支援」は、日常のあらゆる場面において取り組むことができます。その丁寧な支援の積み重ねは利用者の安心につながり、さらに「意思表出する力」を伸ばすことにつながっています。それは利用者の「日常を主体的に生活する力」でもあります。障害をかかえている人は新しい環境に慣れることにとても時間がかかることがあります。環境が変わると、今までできていたことができなくなることもあります。が、「意思表出する力」は、生き生きと生活する力として利用者の自信となって身についていきますので、新しい環境においても必ず活かされる力であると感じています。

これからもたんぽぽでは丁寧な支援を積み重ね、利用者の意思確認が間違っていないか、職員間での振り返りを行いながら、また、ご家族様をはじめ利用者に関わっていただいているたくさんの方々と一緒に利用者の「意思表出する力」を伸ばしていきたいと考えています。



グループ アラカルト

1・2グループの活動より

♪キャンドル作り♪



文化活動の一環としてキャンドルを作りました。無色のローソクを細かくしてホットプレートの上で溶かします。溶けたら色付けとしてクレヨンを削って粉にしたものを入れ、更にクルクルと混ぜます。クレヨンが上手に溶けたら熱いうちに型に流し込んで出来上がり！「どんな色がいいかな」とか「次の色を入れるのが早すぎたのかな」と何度も試行錯誤をくり返しようやく満足のいく作品となりました。完成した作品は、11月12日に行われた『四郷ふるさとまつり』で他の作品と共に販売させて頂きました。



きれいな色ができるね！



♪ふうせんピンポン♪



レクリエーション活動で、ふうせんピンポンをしました。うちわをラケットにして、いざ対戦！！得点が入るたびにゲームは白熱し応援する声にも思わず力が入ります。

♪絵本の読み聞かせ♪

社会体験で図書館へ行き、読みたい絵本を選びます。後日、グループの職員にゆっくり読んでもらい、しばし童心にかえるひととき・・・思わず絵本の世界に吸い込まれます。

絵本を見ながら
リラックス～



屋またぎ外出

いろいろな所
でかけました！



3・4グループの活動より

いつもありがとう
ございます！



♪缶回収♪



地域の皆様やお店、小学校、地区市民センター等にご集めていただいた缶を回収しています。缶回収はご近所であれば歩きで、遠い場合は車でっており、たんぼぼにとって大切な仕事です。毎回集めた缶を手渡しして下さる方もみえ地域の皆様と顔を合わす大切な機会になっています。たくさんの缶が入った袋を持ち帰ったときはとてもやりがいを感じます。



♪芋掘り♪



10月、保々地区の民生委員の方々にご招待していただきサツマイモ掘り体験をしました。広い畑の中を一生懸命掘ると沢山のサツマイモが・・・そして、サツマイモが引っこ抜けると「おー！」といっせいに大歓声が起こりました。



♪プール♪

みんなプールが大好きです。ぷかぷかと浮いてリラックスしたり、歩き回ったり、バタ足で泳いだりとしみながら運動をしています。また、普段は介助が必要な方も水中では安心して歩くことができます。

プールから出た後は、運動後のすっきりした気持ちになります。最後は採暖浴槽に浸かって体を温めます。気持ち良くて出るのを渋ってしまいます。



「お茶会」10月31日

お茶の先生『松尾流』の本格的なお手前を見たり、絵手紙コーナーを設け「和の心」を楽しみました。お菓子は栗狩りで『四郷栗の木林をつくる会』の皆様にお世話になり、栗狩りで収穫した栗を使った手作り栗きんとんです。



結構なお手前でございます。



「もちつき大会」12月14日



三重県宅地建物取引業協会 四日市支部の皆さんをはじめ、ボランティアさん・地域の皆さんにたくさん来ていただき、今年度も「もちつき大会」を無事に開催できました。餅つき場の活気あるかけ声や手づくりの餅のおかげで笑顔の輪ができました。

ご協力いただきました皆さん、誠にありがとうございました。

杵は重いけど
頑張るぞ！



開会式



よいしょ！
よいしょ！

☆ボランティア募集のお知らせ☆

たんぽぽでは色々な活動と一緒に参加していただけるボランティアを募集しています。どんな活動があるかというと「缶回収」「缶つぶし作業」「散歩」「からだ」「誕生会」「レクリエーション」「コンサート」「地域交流」「半日外出」「お茶会」「餅つき大会」と様々です。午前中だけ午後だけなどと時間は自由に決めていただけます。わからない事や不安な事は職員に遠慮なく何でも聞いて下さい。

11月に行った「地域清掃」の写真です。年に4回、施設周辺の道路に落ちているゴミを拾いました。一番多いのはタバコの吸い殻です。毎年続けていると落ちているゴミが徐々に少なくなっているのを感じ、利用者と一緒に喜んでいきます。気軽な気持ちで一度たんぽぽへ遊びに来てみませんか？お待ちしております。



編集後記



一年を通してずっと続けている文化活動があります。それは缶回収にご協力していただいているお家にお渡しする缶回収カード作りです。缶回収カードは貼り絵やステンシルなどで季節を感じてもらえるよう工夫して作っています。カードを手渡しする時「いつもありがとう」「カードずっととってあるよ」と声をかけられ、ほっこりした気持ちで回収先から戻ります。小学校では回収時間を決めて直接手渡しで缶をもらい、小学生との交流を続けています。頂いた缶は缶つぶし作業へとつながり、つぶした缶は作業報酬となり外出や社会体験などに反映されます。活動の一つひとつがつながり、たんぽぽの根っことなっているのです。今年も根っこをどんどん伸ばし、元気なたんぽぽに成長していきたいと思っています。

★障害者自立支援施設たんぽぽ★



〒510-0943 四日市市西日野町 4070-1 TEL : 059-322-5567 FAX : 059-321-8561

E メール tanpopo@m5.cty-net.ne.jp